

第3章 1次教員採用選考試験対策

第1節 一般教養攻略法

1 攻略の鍵 —「一般教養」対策の全体計画を作成しよう—

1次教員採用選考試験突破の鍵は、教職教養・一般教養・専門教科の筆記試験が主です。第1次教員採用選考試験は、一部教職教養のみ出題という自治体や選択制を取り入れる自治体、自治体特有の取り組みを出題する自治体、論作文を一次に行う自治体などの特徴に留意しましょう。これまで「基礎力養成期」・「実力アップ期」を経て「総仕上げ期」と積み上げてきた成果を発揮するため、教職教養・一般教養・専門教科などの筆記試験を重点的に見直し、1・2次試験を突破できるよう実力アップを図りましょう（p. 18 参照）。本テキストでは、9月からの1次・2次を一体とした取り組みを原則として紹介しています。

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	本試験 一・二次
基礎力養成期					実力アップ期			総仕上げ期				
教職教養 一般教養 専門教養 (1次試験は筆記問題重視)	広く深く参考書・過去問などを熟読し苦手を克服します。苦手を明らかにし基礎力を高めよう。自治体の1次・2次の出題傾向を分析しよう。12月までは、一般・教職、専門を重視しよう。				過去問や模擬試験を活用し、自己分析を行いノートに整理しよう。これまでの成果を模擬試験で実力を試そう。答申・報告や学習指導要領のつながりを把握し、不得意分野を克服しよう。教職、専門の知識を面接・論作文の教育用語として「引出し」づくりをしよう。必須です。			直前期は、これまでのノートづくりや模擬試験の結果を生かした総復習を行い全体のつながりを理解し実力アップを図ろう。受験自治体の問題数と時間配分など問題を解く練習をしよう。教職、専門の知識を面接・論作文の「具体的に述べよ」で活用するための「引出し」です。必須です。				
個人面接 集団面接 集団討論 模擬授業 場面指導	面接は「人物重視・即戦力」を見極める場です。「引出し」づくりと捉え教師像・生徒像を骨太に仕上げましょう。面接官の背後には県民・学校の日や声があります。				学習指導案づくりは模擬授業や授業づくりの「引出し」づくりです。面接ではボランティア体験での学びが有効です。試験官役を立て、結論から述べる「キャッチボール型面接」練習を動画などを活用して実践的に取り組もう。			筆記問題の知識を面接や論作文に生かす総合力を育むもう。時事問題や受験自治体に関する問題に積極的に取り組もう。面接は学級づくり、チーム学校づくりの即戦力を判断します。				
論作文 400文字 800文字 1000文字 など	学校ボランティア体験などに積極的に取り組み、授業像・学級像・チーム学校像を育み、自己の教師像を具体的に創ろう。				課題に対し「正対」しその背景となる「キーワード」を解決するために「三つの柱立て」それぞれに「論例策」を具体的に論述できる力を育もう。			教職・専門教養の学びを「引出し」づくりを通して、面接や討論に強い実践的指導力（即戦力）を育むとともに論理的思考力を育もう。				

(令和元年度東京アカデミー資料 引用)

学生の声：—9月は、覚悟を持って決意する時期です—

ある学生は「教師になりたいと思った時は、9月にセミナーに参加した時でした。決意した時が始まりでした。学年ではありません。決意と覚悟を持った時です」と述べています。

2 攻略の鍵 —「一般教養」の取り組みは1年次から—

社会人として必要な一般的な知識・常識を問う試験。国語や英語などの「人文科学」、数学や物理などの「自然科学」、最近のニュースに関する「一般常識」などの分野から出題されます。出題領域・傾向は自治体によって変わります。一般教養は、受験自治体により扱いが異なりますので、併願を含めて検討しましょう。

一般教養の勉強が「分からない」「苦手」という人は、1年次から中学・高校の教科書・問題集の復習を始めるとともに幾つかの自治体の過去問を繰り返し学習し苦手を克服しましょう。そのために、是非、年度ごとの「12ヶ月プラン（仮称）」を作成し、実力アップを図りましょう。

一般教養は、「1次教員採用選考試験」突破の鍵です。早期に学習を開始すること、過去問分析（5ヶ年）と攻略法を、傾向と対策としてまとめましょう。さらに、公開模擬テストを活用することにより、基礎学習を繰り返してできるまで行うとともに応用力を育成しましょう。例えば、〇〇県では、ある程度、数学、理科、国語が出やすい傾向がありますので重点的にやります。さらに、漢字、四字熟語は時間をかけ、英語3問は時間をかけずに行い、得意を伸ばす方針に切り替えたという実践報告があります。参考にしましょう。

一般教養の取り組み方

	人文科学	社会科学	自然科学	一般常識
基礎力 養成期	受験自治体の過去5ヶ年間を分析し基礎固め。ノートに一覧表を作成する。	重要項目を把握し復習を徹底的に行う。参考書などで全領域を学習する。	重要項目をしっかりと把握し復習を徹底的に行う。参考書などで全領域を学習する。	新聞・テレビ等の情報を確認しまとめる。
応用力 伸長期	対策スケジュールを完成する。その後、取り組みや成果を分析する。	全体像を把握した上で、演習問題・復習の繰り返しを行う。	理解度を把握し、最終仕上げを高める。	新聞・テレビ等の情報を法令の視点からまとめる。
直前完 成期	公開模試等を受け、実力を把握し最終仕上げをする。	公開模試等を受け、実力を把握し最終仕上げをする。	模擬試験で、合格に必要な実力を身に付ける。	新聞・テレビ等の情報をまとめる。

あなたの年間学習計画、プランニングシートづくりの留意点をあげてみましょう。

3 攻略の鍵—「一般教養」分析のための学習点検項目—

「一般教養」は、基礎的な分野を広く浅くを原則にしましょう。

【傾向】

主な出題分野は、「教科問題」「時事問題・一般常識」の2つに分けられます。出題構成は、主要教科が中心ですが、自治体によって各分野の出題比率が異なります。出題は広範囲にわたりますが、教科の内容については、中学校から高校までに学習した標準的なレベルの問題が大半です。

時事問題では、過去3年ほどの主要なニュースから出題があります。環境や情報の分野では、重点的に出題する自治体が少なくなく、国内外の施策や法律など近年の動向や基本的な知識が問われます。

【対策】

各教科の対策は、基礎的な分野を広く浅く学習することが一番のポイントです。すべての教科に対応するのは負担が大きいため、苦手な教科や実技教科から重点的に学習するのが効率的です。

大学受験の基礎的な参考書や問題集で一通り復習するのも一つの方法です。

(1) 人文科学（国語、英語、音楽、美術、保健体育、技術・家庭に区分）

国語、英語を出題する自治体が圧倒的に多く、音楽や美術、倫理・思想、保健体育、技術・家庭を出題する自治体は限定的。問題の難易度は概ね“教養レベル”です。広く浅く問われます。

①国語

分類	主な出題事項	
ことば	漢字の読み書き	難解漢字の読み・書き、誤字の訂正、動植物名、熟字訓
	同音異義語、同訓漢字	同音異義語、同訓漢字の読み・書き、書き取り ポイント④
	四字熟語	四字熟語の読み・書き・意味
	格言・ことわざ	意味
文法	文法	熟語の構成、対義語、部首、画数、各種品詞、修飾
	敬語	尊敬語、謙讓語、丁寧語
文章読解 名作鑑賞	現代文読解 ポイント⑤	空欄補充、内容理解、表題・要旨、作品に対する意見論述
	詩の鑑賞	作者名、内容理解、作品に対する感想、心情、修辭法、詩人
	短歌の鑑賞	短歌、表現技法、作品に対する感想
	俳句	作者名、季語・季節、切れ字、内容理解
	古文読解	内容理解、文法（係り結び、副詞）、『枕草子』『徒然草』など
文学史	漢文	書き下ろし文、意味、押韻
	日本文学	古典（作者名、作品名、成立年代、冒頭部分） 近・現代（作者名、作品名、冒頭部分、芥川賞、直木賞）
その他	外国文学	作者名、作品名
その他		手紙の書き方、書体、会話文の空欄補充など

②英語・・・高校レベルの単語帳

分類	主な出題事項
単語・用語	意味、アクセント、活用 ポイント⑥
英文法・構文	完了形、仮定法、関係代名詞、関係副詞、話法、不定詞、比較
熟語・文法	有名な熟語、空欄補充、適語選択、書き換え、正誤問題
書き換え	同じ意味の表現への書き換え
ことわざ	有名なことわざ、名言
略語	政治・経済機関等の略語の意味
会話文	空欄補充、内容理解、作文
文章読解	空欄補充、内容理解
リスニング	空欄補充、内容理解
その他	英作文、会話実技

③音楽

分類	主な出題事項	
音楽の基礎	音楽記号、楽器、楽譜の読み取り（拍子、調）	
日本音楽史	飛鳥～奈良時代	雅楽
	鎌倉～江戸時代	平曲、能楽、三味線、箏、尺八

	明治～	滝廉太郎、山田耕筰、宮城道雄 その他（「ふるさと」「夕やけこやけ」など）
西洋音楽史	～18世紀	バロック、古典派
	19世紀	前期ロマン派、後期ロマン派、国民学派 ポイント㊸
	20世紀	印象派、現代音楽
その他	民族音楽	

④美術

分類	主な出題事項	
美術の基礎	表現技法、版画、彫刻、色彩理論	
日本美術史	ポイント㊸	奈良、平安、鎌倉、室町、安土・桃山、江戸、明治、大正
西洋美術史	～14世紀	ギリシャ、ローマ、ビザンティン、ロマネスク、ゴシック
	15～18世紀	ルネサンス、バロック、ロココ
	19世紀	古典主義、ロマン主義、実写主義、印象派、後期印象派 ポイント㊸
	20世紀	野獣派、立体派、超現実主義、表現派、抽象派
その他	書道作品など	

⑤保健体育

分類	主な出題事項	
保健	応急処置、薬の処方	
	生活習慣病、感染症、エイズ、喫煙、薬物乱用 ポイント㊸	
	その他（健康問題、死亡原因、病原微生物）	
体育	体力、運動技能の上達、トレーニング	
	スポーツの種類、ルール	
	オリンピック、各種スポーツ大会	
その他	関連用語など	

⑥技術・家庭

分類	主な出題事項	
工作	げんのうの使い方	
食物	栄養・栄養素、ビタミンの役割 ポイント㊸	
	食品、食品添加物、食品衛生、食中毒、調理法 ポイント㊸	
被覆	布・繊維の特徴（綿・毛・ポリエステル）、裁縫、洗剤	
消費者生活	3R、クレジットカード、クーリングオフ、フェアトレード、消費者基本法	
その他	表示マーク（JAS, JIS, エコマーク）、住まい、育児	

（2）社会科学（世界史、日本史、地理、政治、経済、倫理、時事に区分）

歴史、地理、政経のいずれの分野も基本的な問題の中心です。近年では、歴史と地理を絡めた問題や時事的要素を加えた問題など、総合的な知識を問うものが増加傾向にあります。また、環境や科学に関する問題も増えています。

①世界史

分類	主な出題事項	
古代・中世	四大文明、古代ギリシャ・ローマ、古代中国	
ヨーロッパ	中世、近世	封建社会、十字軍、ルネサンス、宗教改革、大航海時代
	近代	清教徒革命、名誉革命、フランス革命、産業革命 ポイント㊸
アメリカ史	～19世紀	独立戦争、南北戦争
東洋史	～19世紀	唐、明、清、オスマン・トルコ
第一次世界大戦	辛亥革命、ロシア革命、ベルサイユ条約	
第二次世界大戦	世界恐慌、大西洋憲章	
現代史	冷戦、中東問題、軍縮問題、ヨーロッパ統合	
その他	歴史上の人物	

②日本史

分類	主な出題事項	
原始・古代	縄文、弥生、邪馬台国	
古代	飛鳥時代	聖徳太子、大化の改新、大宝律令
	奈良時代	平城京、荘園、聖武天皇
	平安時代	平安京、摂関政治、院政、日宋貿易

中世	鎌倉時代	御成敗式目、元寇、守護・地頭、執権政治、仏教
	室町時代	勘合貿易、応仁の乱、鉄砲伝来、キリスト教伝来 ポイント⑧
近世	安土桃山	楽市楽座、太閤検地
	江戸時代	鎖国、武家諸法度、三大改革、元禄・化政文化、開国 ポイント⑨
近代	明治時代	明治維新、日清・日露戦争、条約改正
	大正時代	第一次世界大戦、大正デモクラシー
現代	昭和時代	世界恐慌、サンフランシスコ条約、高度経済成長

③地理

分類	主な出題事項	
地図		メルカトル図法、緯度・経度、距離・面積の測定、等高線、地図
地形		山地・平野・海岸・特殊な地形・陸水・海水
気候		気候区分、気候因子、気候要素
人口		人口構成、人口問題、都市化
産業・資源	農業	農産物の生産、農業形態、輸出入品、自給率
	林業	森林分布、森林資源、土地利用
	水産業	漁業の形式、水産資源
	鉱工業	鉱物資源、石油、エネルギー
貿易		日本の貿易（輸出入品と輸出入相手国）、貿易の仕組み
世界の地域	アジア	自然・産業・資源などの特徴
	アフリカ	自然・産業・資源などの特徴
	ヨーロッパ	自然・産業・資源などの特徴
	南北アメリカ	自然・産業・資源などの特徴
	オセアニア・南極	自然・産業・資源などの特徴
	その他	世界の河川・山、首都・都市、時差、宗教
日本の自然	ポイント⑩	国土、地形、気候、平野、海岸
日本の地理	ポイント⑪	諸地域の産業・資源・都市などの特徴
その他		世界遺産、世界の記憶など

④政治

分類	主な出題事項	
民主政治		選挙、三権分立
日本国憲法	ポイント⑫	憲法の三原則、基本的人権、自由権、社会権
国会	ポイント⑬	立法権、二院制、衆議院の優越
内閣		行政権、衆議院の解散・総辞職、行政組織・改革
裁判所		司法権、三審制、違憲立法審査権、裁判員制度
地方自治		直接請求権、財源、三位一体の改革
国際政治		国際連合（安全保障理事会、専門機関）
その他		サミット、PKO、NGO、NPO、ODA、オンブズマンなど

⑤経済

分類	主な出題事項	
経済の仕組み	ポイント⑭	経済活動、為替相場、市場、企業、景気循環、GDP
労働		労働三権、労働組合、労働争議の形態
金融		金融機関、金融政策
財政		予算、租税
国際経済		IMF、WTO、BRICs、国際収支
その他		経済用語（ペイオフ、コンプライアンス、ワークシェアリングなど）

⑥倫理

分類	主な出題事項	
西洋		古代、中世（ルネサンス）
		近代（デカルト、カント、ルソー、ベンサムなど）
		現代（ニーチェ、キルケゴール、デューイ）
東洋		儒教（孔子、孟子）、仏教、イスラム教
日本		古代、中世
		近世
		近代、現代

(3) 自然科学 (数学、物理、化学、生物、地学、環境、情報に区分)

数学、理科ともに、自治体によって問題数や難易度に大きな差があるので要注意。出題領域が固定化している自治体も多い。過去問を分析し、出題頻度が高いものを苦手領域として残さないよう、早めの対策が重要ポイントです。

①数学

分類		主な出題事項
数の計算		約数と倍数、自然数、整数、無理数、進法
式の計算	ポイント⑧	因数分解、式の値、分数式
方程式と不等式	ポイント⑧	一次方程式、二次方程式、不等式
関数とグラフ		一次関数、二次関数
図形	ポイント③	平面図形 (角の大きさ、円、辺の長さ、面積) 空間図形 (表面積、体積、切り口、展開図)
数列		等差数列、等比数列
確率と統計	ポイント④	場合の数、順列・組合せ、期待値
その他		命題、集合、必要十分条件 証明、単位、表・グラフの特徴など

②物理

分類		主な出題事項
力		力の単位・合成、つり合い、圧力、浮力、重力
運動		運動方程式、慣性
仕事とエネルギー		仕事、仕事率 熱と温度、エネルギー保存の法則
波動		波の性質、音、光
電磁気	ポイント⑧	オームの法則、抵抗、電力、ジュールの法則、磁界
その他		物理量とその単位、物理学に関する歴史上の人物など

③化学

分類		主な出題事項
		混合物、原子の構造、化学結合、モル
三態		融解、気化、昇華、凝縮
気体		ボイル・シャルルの法則
溶液		溶液の濃度、コロイド溶液
反応		化学反応 (物質の種類、化学反応式、質量保存の法則) ポイント③
酸・塩基		酸・塩基、中和反応、中和滴定
酸化		酸化・還元、イオン化傾向、電池、電気分解
		元素の分類、物質の種類、炭化水素の分類
		試験管・ガスバーナー・薬品の種類や取り扱いなど

④生物

分類		主な出題事項
生物体の構成		細胞の構造、生物体の化学成分
生物体のエネルギー		代謝、呼吸、光合成、酵素
遺伝と発生		遺伝、細胞分裂、変異、進化説
恒常性の維持と調節	ポイント④	血液、ホルモン、神経系
生態系		食物連鎖、生態系、生物濃縮
生物の種類	ポイント⑧	動植物の種類・特徴
その他		顕微鏡の取り扱い、生物学に関する歴史上の人物など

⑤地学

分類		主な出題事項
地球		物理的性質、内部構造、造岩鉱物
地表の変化		地震 (P波とS波、マグニチュード、初期微動、プレートテクトニクス) 火山 (火山活動、火山岩)
大気と海洋		気温、湿度、気象、興・低気圧、天気図 エルニーニョ現象、海水、海流の種類
太陽系と宇宙		地球の自転・公転、太陽、月、星座 ポイント③
地層と化石		地層、地形、化石

(4) 一般常識

①環境

分類	主な出題事項
環境問題	温室効果、酸性雨、アスベスト、オゾン層、PM2.5、ダイオキシン
環境保全	3R活動、ESD、燃料電池、再生エネルギー、バイオ燃料、エコツーリズム、エコポイント、ゼロ・エミッション、環境アセスメント
環境に関わる条約・法律	SDGs、生物多様性条約、気候変動枠組条約締約国会議、京都議定書、ラムサール条約、家電リサイクル法

②情報

分類	主な出題事項
情報社会	パソコン・インターネットの利用方法、情報モラル、e-Japan 戦略
用語	フィルタリング、フィッシング、セキュリティポリシー、情報リテラシー、LAN, SOHO, GUI, SPAM, URLなど

③時事

分類	主な出題事項
医療、福祉、社会保障、少子高齢化	景気対策、社会保障制度、少子高齢化
家族	育児問題、パラサイトシングル、ドメスティック・バイオレンス
国際社会	サミット、自由貿易、TPP、一帯一路、カタール・ニャ独立問題など
文化	ポイント④ ワールドカップ、オリンピック、ノーベル賞、国民栄誉賞、芥川賞、直木賞、ロケット打ち上げなど
法令	時事新法
ご当地問題	教育事情、時事用語など

『2021年教職課程1月号』より、一般教養出題傾向(2021年度教員採用試験)より 引用

『月刊教員養成セミナー別冊 2017年10月号』より、引用

私の「一般教養」学習計画 学部 学科 氏名

--

第2節 教職教養攻略法

1 攻略の鍵 ―各自治体の傾向と対策の分析―

(1) ノート活用の必要性

教職教養でいえば、福島県のように教育心理分野から一切出題していない自治体もあれば、神奈川県のように毎年複数問は出題する自治体もあります。さらに細かく見ると、西日本では頻出の人権・同和教育の問題が、東北地方ではほとんど出されないような状況もあります。

過去問分析は、問題の「タイプ」を知る上でも大切です。例えば東京都の教職教養は、正しい、または誤った選択肢を選ぶ「正誤判定問題」が中心ですが、大阪府や神奈川県は空欄に入る言葉を選ぶ「空欄補充問題」が中心です。「正誤判定問題」の場合は用語の暗記だけでなく、内容の深い理解が求められるので、学習の進め方が変わってきます。過去問分析においてチェックしておきたいのは、文科省の通知、中央教育審議会の答申・報告、自治体の教育振興計画など、「教育時事」分野からの出題があるかです。出題がある場合は、市販の問題集や参考書だけでは十分な対策ができないので、自力で資料を読み解き、ポイントをノートにまとめるなどの対策が必要です。

「合格を勝ち取る教採対策講座 ウォーミングアップ編」の記事をもっと読む >

月刊『教員養成セミナー』前編集長 教育ジャーナリスト 佐藤 明彦 2018年9月21日より、引用

教職教養対策は、基礎的な教育用語を理解することからが始まりです。具体的には、基礎となる「総則編」を理解することから始めましょう。特に、自治体の過去問5ヶ年の傾向と対策を把握し、出題傾向ごとにノートに整理していくことが攻略の一步です。

卒業生からのメッセージを紹介しましょう。

教職教養問題は長い問題が多いので、特に穴埋め問題が出題されています。さらに、セミナーなどで出題される問題は、分量が多いので素早く読みながら、主語と述語、最初と始めと終わりをしっかりと読み込んでください。憲法と教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則などがつながっていることが分かれば大丈夫です。条文など、つながりや重要ポイント及びキーワードとの関連性を理解することで、問題解決力が高くなります。全部覚える必要はありません。ポイントを掴めば何となく分かるようになってきます。答えを暗記する必要はありません。

まず、ノートにまとめることが重要ポイントです。そして、プリントアウトしてノートに貼ります。次に、メモをとります。また、「苦手対策キーワード」を赤で引く習慣を身に付けるようにしましょう。覚えが早くなります。自分で大事なポイントである場合、必ず赤でアンダーラインを引くことが大事です。忘れないために、共感的な言葉で添え書きをしましょう。

大学4年間を見通した学習計画上の留意点

開始時期	基礎力養成期	応用力伸長期	直前完成期
大学1年	じっくり基礎固め、ノートに一覧表を作成する。学校ボランティア体験を生かす。	重要項目をしっかりと把握し復習を徹底的に行う。 教職課程履修	理解度を把握し、最終仕上げを高める。
大学2年	受験自治体の過去5ヶ年間を分析して、課題を明確にする。	全体像を把握した上で、苦手分野を克服する手立てを優先的に挙げる。	本番までの日程を完成する。その取り組み成果を生かして全体像を把握する。
大学3年	教職課程履修の再復習及び対策スケジュールを完成する。	対策スケジュールを完成する。	模擬試験で、合格に必要な実力を身に付ける。
大学4年	教職課程履修の再復習、公開模擬テスト、過去問を徹底的にやり直す。	教職課程履修の再復習、公開模擬テスト、過去問を徹底的にやり直す。	これまでの取り組み成果を生かして全体像を把握する。

(2) 教職教養の「正誤判定問題」と「空欄補充問題」

筆記試験は、主に「一般教養」「教職教養」「専門教養」の3領域に分かれます。ここでは「教職教養」の問題例を紹介します。以下は、東京都の2018年実施試験で出された問題です。

①東京都教員採用試験（2018年度実施）で出題された教職教養の問題

公立学校の教員の服務に関する記述として、法令に照らして適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 教育公務員は、教育に関する専門職であることから、教育に関する他の職を兼ね、又は教育に関する他の事務に従事するに当たり、任命権者の許可は必要ない。
- 2 教育公務員が法令による証人、鑑定人等となり、職務上の秘密に属する事項を公表することについて、地方公共団体の長は、法律に特別の定がある場合を除く外、拒むことができない。
- 3 教育公務員は、所属する地方公共団体の区域外において地域政党の役員となることはできるが、当該地方公共団体の公の選挙において投票するよう勧誘運動をすることはできない。
- 4 教育公務員は、その職の信用を傷付けるような行為をしてはならず、それらの行為に該当する事項に関する具体的な処分量定は国の基準で定めるものとされている。
- 5 教育公務員は、地方公共団体の機関が代表する使用者としての住民に対して同盟罷業、又は地方公共団体の機関の活動能率を低下させる怠業的行為をしてはならない。

教職教養の5分野のうち、「教育法規」に関する問題です。ご覧いただいて分かるように、かなりの長文ですが、東京都の問題としてはこれでも短い方です。

このように、選択肢の中から正しいものや誤ったものを選ぶ問題を「正誤判定問題」といいます。（正解は「5」）

②大阪府教員採用試験（2018年度実施）で出題された教職教養の問題

次の各文は、教育基本法の条文である。空欄A～Dに、下のア～クのいずれかの語句を入れてこの条文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

第一条 教育は、(A) を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

第三条 国民一人一人が、(B) を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その(C)、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる

(D) が図られなければならない。

ア：人格の完成 イ：自己の人格 ウ：社会の実現 エ：生きる力の育成

オ：環境の整備 カ：生涯にわたって キ：未来に向けて ク：人間性と創造性

(A、B、C、Dの順)

- 1：エ、ク、カ、ウ
- 2：ア、イ、カ、ウ
- 3：エ、イ、キ、オ
- 4：ア、ク、キ、オ
- 5：ア、イ、キ、ウ

こちらは、空欄に用語を入れるタイプの問題で「空欄補充問題」と呼ばれます。補充といっても、実際に用語を書かせる自治体は少なく、大半の自治体は選択肢から選ぶ問題が多い。（正解は「2」）

「正誤判定問題」と「空欄補充問題」とでは、必要な対策法も違ってきます。上記の東京都の「正誤判定問題」の場合、選択肢の誤りを見抜く必要があるため、内容に対する深い理解が求められます。一方、大阪府の「空欄補充問題」の場合は、内容を深く理解すること以上に、重要用語等の確実な暗記が求められます。大切なのは、受験する自治体がどのようなタイプの問題を出しているかを把握することです。試験勉強を始める前に、必ず過去問分析をするようにしましょう。

2 教職教養出題範囲 — 「1次教員採用選考試験」突破の鍵—

①教育一般

分類	主な出題事項
教育の機能・意義	教化・訓育・陶冶、教育の必要性（野生児）など

②教育課程と学習指導要領

分類	主な出題事項	
教育課程	教育課程一般	教育課程の原理、カリキュラムの種類（コア・カリキュラム、相関カリキュラムなど）
	編成と基準	小学校・中学校・高校、学校教育法施行規則 52 など
	学習指導要領 ポイント④ ポイント⑤	前文、総則（小中高等学校教育の基本と教育課程の役割、教育課程の編成、教育課程の実施と学習評価、児童の発達の支援、学校運営上の留意点など） 学習指導要領の変遷、各年版の特徴、新旧の比較
道徳教育	学習指導要領 （小中第3章） ポイント③ 重点	総則（道徳教育や体験活動～、道徳教育に関する配慮）、「考え、議論する道徳科」 特別の教科 道徳の目標（「第1章総則の第1の2の（2）」に示す道徳教育の目標に基づき～） 特別の教科 道徳の内容、指導計画の作成と内容の取扱い、道徳教育推進教師 見方・考え方、個人内評価、質の高い多様な指導法
	その他	道徳教育の意義、私たちの道徳、「主体的・対話的で深い学び」と道徳科
	外国語	学習指導要領 （小第4章） 目標 内容 指導計画の作成と内容の取扱い
総合的な学習	学習指導要領	目標、各学校において定める目標及び内容（小第5章） 指導計画の作成と内容の取扱い（中・高第4章）
	特別活動 （小第6章） （中・高第5章）	目標（「集団や社会の一員としての見方・考え方を働かせて～」） 内容（学級（ホームルーム）活動）、児童（生徒）会活動、クラブ活動、学校行事 指導計画の作成と内容の取扱い

③教育原理

分類	主な出題事項	
教 師 の 学 習 ④	理論ポイント④	完全習得学習、発見学習、プログラム学習、問題解決学習、有意味受容学習など
	学習指導の形態	一斉学習・小集団（グループ）学習・個別学習（学習集団）
	学習指導の形態 （支援組織）	オープン・スクール、ティーム・ティーチング、モジュール方式
	学習指導の形態	習熟度別学習、コース選択学習
	その他	授業の過程、個別最適な学び、協働的な学び（KJ法）、
	学習指導の方法	バズ学習、ジグソー学習、講義法、全習法、水道方式など
教育機器	CAI（コンピューター支援教育）、CMI（コンピューターマネージメント）、GIGAスクール	
生 徒 指 導 ・ 場 面 指 導	基本理念	生徒指導提要、自己指導能力、三つの留意点、受容、カウンセリングマインド
	領域	学業指導、キャリア教育、防災教育、安全教育など
	方法	集団・個別指導、観察法・面接法・質問紙法
	教育相談	意義・方法・形式・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど
	具体的事例 （指導法） 脚本家、演技者 3ステージ	いじめ（時事問題、統計含む）演技2分、3人1人に暴力をSNS、ふりをして 不登校、高校中退（時事問題、統計含む）複数のテーマで、総合力（即戦力） 暴力行為、非行、問題行動、学級崩壊（時事問題含む）教材研究
	その他	生徒指導に関連する事項 場面指導（11/1）
人 権 ・ 同 和 教 育	歴史	法制史、解放・改善運動史、事件
	答申	「同和对策審議会答申」
	関連法規	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、「部落差別の解消の推進に関する法律」、人権教育に関するその他の関連法規
	その他	各都道府県の人権施策方針など ポイント④ 最重点です。
特 別 支 援 教 育	目的	学校教育法 72
	定義・指導法	LD、ADHD、高機能自閉症、CP、発達障害、愛着障害
	教育機関	特別支援学校（学校教育法 72・76）、寄宿舎（学校教育法 79）、特別支援学級（学校教育法 81）
	教育課程	学習指導要領、教育課程（学校教育法施行規則 126・127128）、

育	指導の形態	ユバーサルデザイン、交流及び共同学習、通級指導、統合教育（インクルージョン、インテグレーション）
	関連用語 ポイント⑥	特別支援教育コーディネーター、個別の教育支援計画（学校教育法施行規則 134 の 2, 139 の 2 を含む）、合理的配慮など
	関連法規 ポイント⑥	発達障害者支援法、障害者基本法、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律など
	関連施策	「特別支援教育の推進について（通知）」、「障害者権利条約」、「障害者基本計画」など
社会 教育	定義	教育基本法 I・12、社教法 2
	施設	公民館、図書館、博物館、大学・学校施設の開放
	その他	関連法規（社会教育法、図書館法、博物館法、スポーツ振興法）、社会教育主事
教育 時事	現代の教育 ポイント④	情報教育（「小学校プログラミング教育の手引き（第二版）」、「2020 年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」最終まとめ、「教育の情報化ビジョン」、「教育の情報化に関する手引き」、学習指導要領（総則）、GIGA スクールなど 「21 世紀を生き抜く児童生徒の情報活用能力育成のために」（平成 27 年） 「2020 年代に向けた教育の情報化に関する懇談会最終まとめ」（平成 28 年） 「教育の情報化に関する手引」（令和元年） その他（防災教育、環境教育、消費者教育、国際理解教育、ボランティア）
	中央教育審議会 答申	「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」、集団討論なし 「第 3 期教育振興基本計画について」ポイント④、「横浜ビジョン」ゼロ 「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員養成コミュニティの構築に向けて～」 「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」
		「第 2 次学校安全の推進に関する計画の策定について」
		「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成 28 年度）
教育 時事	中央教育審議会 答申 ポイント④	「新しい時代の教育や地方創成の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」 「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」 「道徳に関わる教育課程の改善等について」 「今後の青少年の体験活動の推進について」 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成 23 年）
		「外国人児童生徒受け入れの手引き」
		「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」
		「学校・教員委員会等向け虐待対応の手引き」
		「児童虐待防止対策に係る学校等及びその設置者と市町村・児童相談所との連携の強化について（通知）」
		「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」ポイント④
		「第 3 期教育振興基本計画（閣議決定）」ポイント④
教育 時事	その他	「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～（報告）」
		「第 2 次学校安全の推進に関する計画」（閣議決定）」
		「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」
		「第 3 次食育推進基本計画」
		「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気づき、支え、つなぐために～」
		「学校評価ガイドライン（平成 28 年改訂）」
		「不登校児童生徒への支援に関する最終報告」
		「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」
		「いじめの防止等のための基本的な方針」
		「特別支援教育の支援について」（平成 19 年）
		「子どもの貧困対策に関する大綱」（閣議決定）（平成 26 年）
		「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」（平成 27 年）
		「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針の

	策定について（通知）
	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針（閣議決定）」
	「障害のある児童生徒に対する早期からの一貫した支援について（通知）」（平成 25 年）
	「体罰の禁止及び児童生徒の理解に基づく指導の徹底について（通知）」
	「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成 24 年）
	「学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き」
	「人権教育・啓発に関する基本計画」（平成 23 年）
	「人権教育の指導方法等の在り方について【第三次とりまとめ】」（平成 20 年）ポイント④
	「教育統計、白書」
	「各都道府県の教育方針・施策」ポイント④
	全国学力・学習状況調査、生徒の学習到達度調査（PISA）、国際数学・理科動向調査（TIMSS）

④教育法規

分類	主な出題事項
教育の基本理念に関する法規	憲法 教育を受ける権利（26）ポイント④ その他（前文、11～15、19～20、23、25、27、89）
	教育基本法 前文、1～17 ポイント④ 教育基本法：文部科学省 (mext.go.jp)
教育委員会に関する法規	大綱の策定（地方教育行政の組織及び運営に関する法律 1 の 3）
	総合教育会議（地方教育行政の組織及び運営に関する法律 1 の 4） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 e-Gov 法令検索 資料 5-2. 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」概要（パンフレット）（ mext.go.jp ）
	組織（地方教育行政の組織及び運営に関する法律 3）
	教育長と教育委員（地方教育行政の組織及び運営に関する法律 4・5・13・14）
	事務局（地方教育行政の組織及び運営に関する法律 17・18）
	教育委員会の職務権限（地方教育行政の組織及び運営に関する法律 21）
	就学関係（学校教育法施行令 1①②・2、学校教育法 18） 学校教育法 e-Gov 法令検索 学校教育法施行規則 e-Gov 法令検索
	学校、教職員等の管理（地方教育行政の組織及び運営に関する法律 31・32・33・34・381、地方公務員法 401） 地方公務員法 e-Gov 法令検索
	研修（地方教育行政の組織及び運営に関する法律 45、教育公務員特例法 23） 教育公務員特例法 e-Gov 法令検索
	教職員の定義と資格 定義（教育公務員特例法 2①②③⑤、 教育公務員特例法：文部科学省 (mext.go.jp) 教育職員免許法 2① 教員免許状に関する Q&A：文部科学省 (mext.go.jp) 標準法 2③、 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律 e-Gov 法令検索 資格（学校教育法 9、学校教育法施行規則 20・21・23、 教育職員施行規則 20・21・22・23、 教育職員免許法施行規則 e-Gov 法令検索 教育職員免許法 3） 教育職員免許法 - Wikipedia
教職員の身分と義務	公務員の性格（地方公務員法 30、教育基本法 9②、憲法 15②）ポイント④ 義務（地公法 31～38、国公法 102、教特法 17・18、地教行法 43②、教育基本法 8②） ポイント④ 教育委員会と服務規程 分限と懲戒（地方公務員 27～29）ポイント④ 分限処分と懲戒処分とは？ (kyouikunohouritu.com) 地方公務員の分限及び懲戒 リーガレット (legalet.net) 勤務時間・条件（労働基準法）等 資料 5-1 (mext.go.jp)
	教員の任用 採用及び昇任の方法（地公法 11）、 教育公務員特例法 条文 法令リード (hourei.net) 条件附採用・臨時的任用（地公法 22、教特法 12） 欠格事由・欠格条項（学校法 9、地公法 16） みよし市 / 地方公務員法第 16 条および学校教育法第 9 条欠格事項 (aichi-miyoshi.lg.jp)
	教員の研修 ポイント④ 研修、中堅教諭等資質向上研修、指導改善研修（教特法 21・22・22 の 2・22 の 3・22 の 4・22 の 5・24・25・25 の 2・25 の 3、地公法 39）

		<p>初任者研修（教育公務員特例法 23、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 45①）教育公務員特例法第 23 条（初任者研修）と関連法令、判例 - 無料で法律、判例検索 - とある法律判例の全文検索 β (thoz.org)</p> <p>校務分掌（学校教育法施行規則 43）校務分掌を定める際の配慮事項 (tomiya047.com) ハートフルスペース、フレンド（不登校）カウンセラー</p> <p>教職員、主任等の職務（学校法 37・49・60・82、学校法施規 44・45・46・47・65 の 2・65 の 3・70・71・78 の 2 など）資料 1-3、1-4（再照会）⑦再 171018(児・修正)学校において設置する組織・担当 (mext.go.jp)</p> <p>手当がない（道徳教育推進教師、特別支援教育コーディネーター、教科主任など）</p> <p>職員会議（学校教育法施行規則 48）職員会議 H12 学校教育法施行規則改正後の通知など (kyouikunohouritu.com)</p> <p>教職員の配置（学校教育法 7・37 など）</p>
	校長の職務と権限	<p>身分（教育公務員特例法 2）、採用と資格（学校教育法 8・9、学校教育法施行規則 20、教育公務員特例法 11）</p> <p>教職員の管理（学校教育法 37④）</p>
	教員免許状	教員免許状の種類、授与、効力（教育職員免許法）
学校教育に関する法規	学校の設置	<p>学校の種類（学校教育法 1）</p> <p>学校の名称と設置者（学校教育法 2、教育基本法 6①）</p> <p>設置基準（学校教育法 3）、設置義務（学校教育法 38）</p>
	学校の目的・目標	義務教育、小学校（体験活動の目標を含む）、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校 ポイント④
	学校評価及び情報提供	評価（学校教育法 42、学校教育法施行規則 66・67・68）、情報提供（学校教育法 43）
	設備と管理	<p>学校の管理・経費の負担（学校教育法 5）、学校の設備（学校教育法施行規則 1）</p> <p>学校図書館（学校図書館法）</p>
学校の管理・運営に関する法規	学級編制	小学校・中学校の学級編制・学級数・児童生徒数（義務教育標準法 3・4、学校教育法施行規則 41、設置基準）
	学年・学期・休業日等	<p>学年（学校教育法施行規則 59）</p> <p>学期（学校教育法施行令 29）</p> <p>休業日（学校教育法施行令 29、学校教育法施行規則 61）、臨時休業日（学校教育法施行規則 63）</p> <p>授業終始の時刻（学校教育法施行規則 60）</p>
	保健・安全・給食	<p>学校保健（学校教育法 12、学校保健安全法 1・3・4・5・7・10）ポイント⑥</p> <p>環境衛生（学校保健安全法 6）、安全（学校保健安全法 26・27・28・29・30、学校保健安全法施行規則 28）</p> <p>感染症による出席停止（学校保健安全法 19）、感染症による臨時休業（学校保健安全法 20）ポイント③</p>
	保健・安全・給食	<p>健康診断（学校保健安全法 11・12・13・14・15・16、学校保健安全法施行規則 5）</p> <p>その他（健康増進法、学校給食・保健・安全の関連事項）</p>
学校の管理・運営に関する法規	教科書・教材	<p>使用義務（学校教育法 34①②）、教科書の定義（教科書発行法 2、教科用図書検定規則 2）</p> <p>義務教育の無償教科書（教科書無償措置法）、教科書の採択（教科書無償措置法）、教科書使用の特例（学校教育法施行規則 89・131）、副教材等の届出（地教行法 33）</p> <p>著作権法（33・35）</p>
	その他	学校評議員（学校教育法施行規則 49）、学校運営協議会（地教行法 47 の 6）
	就学	<p>就学事務（学校教育法 16・17・36）</p> <p>就学事務（学校教育法施行令 2・5①・9・11・14、学校保健安全法施行令 I・4②）</p> <p>就学猶予（学校教育法 18、学校教育法施行規則 34）</p> <p>就学援助（学校教育法 19）ポイント⑥</p>
児童・生徒に関する法規	入学・卒業	<p>学齢簿の編製・作成（学校教育法施行令 I・2、学校教育法施行規則 29・30）</p> <p>入学期日の通知と学校の指定（学校教育法施行令 5）</p> <p>課程の修了・卒業の認定（学校教育法 32・47・56、学校教育法施行規則 57・79・104）、卒業証書の授与（学校教育法施行規則 58・79・104）</p>
	懲戒・出席停止	<p>懲戒と体罰（学校教育法 11）ポイント⑥</p> <p>懲戒の種類（学校教育法施行規則 26）</p> <p>性行不良による出席停止（学校教育法 36）</p>

	法定表簿	表簿の種類と保存期間（学校教育法施行規則 28①②、学校保健安全法施行規則 6④） 指導要録（学校教育法施行規則 24） 出席簿の作成（学校教育法施行規則 25）
	児童・生徒の保護	児童福祉法、児童虐待防止法、子どもの貧困対策推進法 ポイント◎
その他	その他	いじめ防止対策推進法 ポイント④ 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律 少年法 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）、世界人権宣言
	その他	食育基本法、個人情報保護法、読書活動推進法など

⑤教育心理

分類		主な出題事項
教育心理学の展開		教育心理学の歴史
カウンセリング・心理療法	カウンセリング	非指示的カウンセリング（ロジャース）ポイント⑩ 指示的カウンセリング（ウィリアムソン） その他（カウンセリング・マインド、ラポールなど）
	心理療法	精神分析療法 行動療法、認知行動療法 遊戯療法、箱庭療法 その他（心理劇、自律訓練法など）
発達理論	発達の原理	発達の連続性、発達における一定の方向と順序、発達の個人差、分化と統合
	遺伝と環境	孤立要因説（生得説、経験説）、加算的寄与説、幅輻説、相互作用説（環境閾値説）
	発達理論	フロイトの精神分析的発達論（リビドー理論） エリクソンの心理社会的発達理論（自我同一性）ポイント◎
発達理論	発達理論	ピアジェの発生的認識論ポイント④ その他（ミラーやバンデューラの社会的学習説、ヴィゴツキーの認知発達説、ハヴィガーストの発達課題、コールバーグの発達段階説、スキヤモンの発達曲線など）
	発達期の特徴	乳児期、幼児期、児童期、青年期
	その他	インプリンティング（ローレンツ）、アタッチメント、ホスピタリズムなど
適応機制	適応機制的な具体的な種類	抑圧、逃避、退行、置き換え、転換、昇華、同一視、投射、合理化、知性視など
人格の理論とその把握	人格理論	類型論（クレッチマー、シェルドン、ユング、シュブランガー） 特性論（キャッテル、ギルフォード、アイゼンク） 力動論（レヴィン、フロイト）
	人格検査法	質問紙法（YG式性格検査、MMP I） 投影法（ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、P-Fスタディ） 作業検査法（内田クレペリン検査、ダウニー意志気質検査） 描画法（バウムテスト、HTP） その他（テスト・バッテリー、評定尺度法など）
	欲求	マズローの欲求階層構ポイント◎ アンビバレンス、コンフリクト、フラストレーション
	その他	かん黙、チックなど

知能検査	知能の因子構造	スピアマン、ソーダイク、サーストーン、トムソン、ギルフォード
	知能検査の種類	目的別（①一般知能検査、②診断的知能検査（ウェクスラー式）） 実施方法別（①個別式知能検査、②集団的知能検査） 問題の種類別（①言語式知能検査、②非言語的知能検査、③混合式知能検査）

知能検査	検査結果の整理・表示	精神年齢、知能指数
	その他	知能検査の歴史（ビネーなど）

教育評価	教育評価の種類	相対、絶対、個人内、到達度、観点別、ポートフォリオ、パフォーマンス ブルーム
	評価の方法	各種のテスト、質問紙法、面接法、事例研究法
	学力とその評価	成就指数、教育指数

	教育評価のキーワード	ハロー効果 ピグマリオン効果 その他（スリーパー効果、ホーソン効果、中心化傾向）		
集団機能	学級集団の形成	学級集団の特徴、機能、形成過程		
	リーダーシップ	リーダーシップの型と集団の生産性、PM理論		
	集団の測定	ソシオメトリック・テスト（モレノ） ゲス・フー・テスト（ハーツホーン、メイ、マラー）		
学習理論	連合説 S-R	パプロフ（条件反応と古典的条件づけ） ソーンダイク（試行錯誤説と道具的条件づけ、効果の法則） スキナー（オペラント条件づけとプログラム学習） その他（ワトソン、ガスリー）		
		認知説 S-S	ケーラー（洞察説） トールマン（サイン・ゲシュタルト説） レヴィン（場の理論）	
			学習	記憶と忘却（学習過程） レミニッセンス 忘却曲線（エビングハウス）
			学習	記憶と忘却（学習過程） 学習曲線（プラトナー） レディネス 動機付け、学習意欲、達成意欲 学習の転移（正の転移、負の転移）
	その他	その他 関連事項（モデリング [バンデューラ]、メタ認知、短期・長期記憶、リハーサルなど）		
	その他	ブーメラン効果など		

⑥西洋教育史

分類	主な出題事項		
古代～中世	古代	プロタゴラス、ソクテラス、プラトン、アリストテレス	
	中世	人文主義、宗教改革、コメニウス	
近代～現代	自然主義	ルソー ペスタロッチ ロック	
		系統主義	ヘルバルト、ツィラー、ライン
		革命期の教育思想家	オーエン、コンドルセ、ペル、ランカスター（モニトリアル・システム）
	児童中心主義	フレーベル エレン・ケイ モンテッソーリ	
		改革教育学（ドイツの新教育運動）	ケルシェンシュタイナー、ナトルプ、シュプランガー、ペーターゼン（イエナプラン）
		進歩主義教育（アメリカの新教育運動）	デューイ、キルパトリック（プロジェクト・メソッド）、ウォッシュバーン（ウィネットカ・プラン）、パーカー（ドルトン・プラン）
	近代～現代	各国の教育制度改革（第二次世界大戦後）	アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ
現代の重要人物		ブルーナー、ラングラン、イリイチ	
その他		カント、スペンサー、デュルケムなど	

⑦日本教育史

分類	主な出題事項	
古代	奈良	大学寮、国学、芸亭
	平安	最澄（山家学生式）、空海（綜芸種智院）、別曹（弘文院、奨学院、勸学院）
中世	鎌倉	金沢文庫（北条実時）
	室町	足利学校（上杉憲実）
近世	学問所、藩校	昌平坂学問所、藩校（日新館、明倫館など）

	私塾	心学舎、咸宜園、古義堂、適塾、藤樹書院、松下村塾
	その他の教育機関	寺子屋、郷学
	思想家	安藤昌益、大原幽学、貝原益軒、二宮尊徳
近代	明治	教育法制史（学制、教育令、学校令、教育勅語、小学校令の改正） 人物（伊澤修二、高嶺秀夫、福沢諭吉）
	大正	教育法制史（臨時教育会議、大学令・高等学校令） 大正新教育運動、八大教育主張
		その他（芦田恵之助、鈴木三重吉）
現代	昭和（戦前）	教育法制史（国民学校令、青年学校令）、生活綴方運動
	昭和（戦後）	第二次大戦後の教育改革など

『月刊教職課程 2021年1月号』 協同出版 より、引用

『月刊教員養成セミナー2021年1月号別冊』 時事通信社 より、引用

3 5分でわかる教育時事

次の文は、中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）の一部です。空欄に当てはまる語句を書きなさい。

(1) 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

○ このように急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや（ 1 ）を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と（ 2 ）しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。

○ この資質・能力とは、具体的にはどのようなものであろうか。中央教育審議会では、平成28年答申において、社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つのであれば難しい時代になる可能性を指摘した上で、変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、人間ならではの（ 3 ）を働かせてより豊かなものにする必要性等を指摘した。とりわけ、その審議の際に AI の専門家も交えて議論を行った結果、次代を切り拓く子供たちに求められる資質・能力としては、文章の意味を正確に理解する（ 4 ）力、教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力、対話や（ 2 ）を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や（ 5 ）を生み出す力などが挙げられた。また、豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力、困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力、公共の精神の育成等を図るとともに、子供の頃から各教育段階に応じて体力の向上、健康の確保を図ることなどは、どのような時代であっても変わらず重要である。

解答 1：可能性 2：協働 3：感性 4：読解 5：納得解

(2) 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

次の文は、中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）の一部です。空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

○ 第2期、第3期の教育振興基本計画で掲げられた「自立」、「協働」、「(A)」の3つの方向性を実現させるための生涯学習社会の構築を目指すという理念を踏まえ、学校教育においては、2. (3) で挙げた子供たちの多様化、教師の長時間勤務による疲弊、情報化の加速度的な進展、少子高齢化・人口減少、感染症等の直面する課題を乗り越え、1. で述べたように、Society5.0 時代を見据えた取組を進める必要がある。これらの取組を通じ、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、(B) の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。

○ このためには、2. (1) で述べてきた明治から続く我が国の学校教育の蓄積である「日本型学校教育」の良さを受け継ぎながら更に発展させ、学校における働き方改革と GIGA スクール構想を強力に推進しながら、新学習指導要領を着実に実施することが求められており、必要な改革を躊躇なく進めるべきである。

○ その際、従来の社会構造の中で行われてきた「(C)」や「同調圧力」への偏りから脱却し、本来の日本型学校教育の持つ、授業において子供たちの思考を深める「発問」を重視してきたことや、子供一人一人の多様性と向き合いながら一つの (D) (目標を共有し活動を共に行う集団) としての学びに高めていく、という強みを最大限に生かしていくことが重要である。

○ 誰一人取り残すことのない、持続可能で多様性と (E) のある社会の実現に向け、学習指導要領前文において「持続可能な社会の創り手」を求める我が国を含めた世界全体で、SDGs (持続可能な開発目標) に取り組んでいる中で、ツールとしての ICT を基盤としつつ、日本型学校教育を発展させ、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を

「令和の日本型学校教育」と名付け、まずその姿を以下のとおり描くことで、目指すべき方向性を社会と共有することとしたい。

A	B	C	D	E
1 創造	持続可能な社会	事なかれ主義	チーム	包摂性
2 判断	持続可能な社会	事なかれ主義	チーム	包摂性
3 創造	グローバル社会	正解主義	グループ	柔軟性
4 判断	グローバル社会	正解主義	グループ	柔軟性
5 創造	持続可能な社会	正解主義	チーム	包摂性

解答 1

(3) 教員採用選考試験教育時事ランキング (2021年3月3日、教育新聞より)

難解な教育時事をどう攻略するか。教員採用試験の教職教養で鬼門と言われる「教育時事」。問題集や参考書のみで対策するのは非常に難しく、「どの資料」の「どの部分」が出るか、検討をつけること自体に苦勞している方も多いはず。そこで、月刊『教員養成セミナー』前編集長で教育ジャーナリストの佐藤明彦氏が、独自に収集した膨大なデータから2020年実施試験を分析し、2021年実施教員採用試験の傾向と要チェックなテーマを予測します。

- ・ [難解な教育時事をどう攻略するか「的を絞って」対策](#)
- ・ [2020年 教育時事の出題数ランキング 教育時事の出題状況一覧 \(資料別\)](#)
- ・ [よく出るもの、出題が増えているものは 2021年実施試験で初出題が予想される資料](#)

①2020年教員採用試験 教育時事の出題数ランキング

資料別の出題数ランキングをまとめると以下のようになります (資料名をクリックすると資料提供元にアクセス)。

順位	出題資料 (外部リンク)	出題自治体数
1	不登校児童生徒への支援の在り方について (通知)	10
2	第3期教育振興基本計画	9
3	幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について (答申) ※関連資料・通知を含む	8
3	教育の情報化に関する手引	8
5	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について (通知)	7
6	いじめの防止等のための基本的な方針 [平成29年3月改定]	6
6	特別支援教育の推進について (通知)	6
6	発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気づき、支え、つなぐために～	6
6	新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について (答申)	6
10	平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査※関連通知を含む	5

②2019年 出題数ランキング

順位	出題資料 (外部リンク)	出題数
1	中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について (答申)」(2016年12月) ※関連資料・通知を含む	15
2	閣議決定「第3期教育振興基本計画」(2018年6月)	14
3	文部科学省「特別支援教育の推進について (通知)」(2007年4月)	8
3	人権教育の指導方法等に関する調査研究会「人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ]」(2008年3月)	8
5	文部科学省「いじめの防止等のための基本的な方針 [平成29年3月改定]」(2017年3月)	7
5	中央教育審議会「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について (答申)」(2019年1月)	7
7	中央教育審議会「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 (報告)」(2012年7月)	6

7	文部科学省「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気づき、支え、つなぐために～」(2017年3月)	6
7	文部科学省「第2次学校安全の推進に関する計画」(2017年3月) ※関連通知を含む	6
10	中央教育審議会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～(答申)」(2015年12月)	5
10	文部科学省「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(2018年10月) ※関連通知を含む	5
10	文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」(2016年9月)	5
10	中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(2011年1月)	5

③2018年 出題数ランキング

順位	出題資料(外部リンク)	出題数
1	中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(2016年12月) ※関連資料・通知を含む	23
2	文部科学省「いじめの防止等のための基本的な方針[平成29年3月改定]」(2017年3月)	8
2	人権教育の指導方法等に関する調査研究会議「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」(2008年3月)	8
4	文部科学省「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気づき、支え、つなぐために～」(2017年3月)	7
5	文部科学省「特別支援教育の推進について(通知)」(2007年4月)	6
6	文部科学省「平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(2018年10月)	5
6	教育相談等に関する調査研究協力者会議「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～」(2017年1月)	5
6	閣議決定「第3期教育振興基本計画」(2018年6月)	5
6	中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(2011年1月)	5
6	閣議決定「人権教育・啓発に関する基本計画」(2011年4月)	5

④必読

- [【必読】【教員採用試験に向けて\(4\)】不登校 当人の事情に応じた取り組みを](#)
- [【必読】【神谷正孝の教育時事2019\(5\)】「小・中学校不登校」の最新事情](#)
- [【必読】【必読】【カタリバ 今村久美氏】これからの不登校支援](#)
- [【必読】【問題行動調査】小中の不登校18万人 半数が90日以上](#)
- [【必読】押さえない教育時事 その1「第3期教育振興基本計画」](#)
- [【必読】神谷正孝の5分でわかる教育時事2017-2018\(11\) 第3期教育振興基本計画 指導要領と併せて理解を](#)
- [【必読】\(注目の教育時事を読む\) 第47回 第3期教育振興基本計画](#)
- [【必読】可能性に挑戦する力の育成を 中教審が第3期教育振興基本計画を答申](#)
- [【必読】\(本紙編集局はこう読む 深掘り 教育ニュース\) 第3期教育振興基本計画](#)
- [【必読】\(新しい潮流にチャレンジ\) カリキュラム・マネジメントの実践\(1\)](#)
- [【必読】カリキュラム・マネジメント再考 実効性の向上をどう図っていくか\(工藤文三\)](#)
- [【関連】PBL・探究型学習](#)
- [【関連】GIGA スクール](#)
- [【必読】発達障害を抱えた子の可能性を伸ばす指導](#)
- [【必読】【神谷正孝の教育時事2021\(5\)】特別支援教育のポイント](#)
- [【必読】LITALICO 野口晃菜氏と中教審答申を読む 特別支援教育](#)
- [【必読】いじめ防止の基本方針改定 組織的で迅速な対応求める](#)
- [【必読】「ネットいじめ」「教委の対応」巡る二つの裁判](#)
- [【必読】神谷正孝の教育時事「いじめ」の最新事情](#)
- [【必読】【子どもたちからのSOS\(6\)】コロナに関するいじめ・トラブル](#)
- [【必読】SOSの出し方やコロナいじめ 都教委、いじめ対策を改定](#)
- [【必読】詳報 学校の働き方改革 中教審答申](#)
- [【必読】詳報 学校の働き方改革 答申素案の全体像](#)
- [【必読】神谷正孝の5分でわかる教育時事 教員に求められる資質能力](#)

[【関連】 教員の働き方改革](#)

[【必読】 【神谷正孝の教育時事 2021 \(6\)】 中教審「令和の日本型教育」答申について①](#)

[【必読】 中教審、答申を了承 「令和の日本型学校教育」打ち出す](#)

[【必読】 荒瀬教授と中教審答申を読む \(上\) 子供を学校教育の主語にする](#)

[【必読】 「令和の日本型学校教育」答申が示した画期と限界 \(妹尾昌俊\)](#)

[【必読】 【アダプティブラーニング】 個別最適化する学びとは](#)

[【必読】 【個別最適化】 特異な才能、どう伸ばす? 中教審で議論](#)

[【必読】 個別最適化へ3つのログの活用を 教育再生実行会議 TF](#)

[【必読】 中教審中間まとめ 生煮え状態の「個別最適化」\(斎藤剛史\)](#)

[【必読】 【クオリティ・スクールを目指す \(188\)】 個別最適の学びと協働的な学び](#)

[【必読】 【神谷正孝の教育時事 2019 \(12\)】 GIGA スクール構想](#)

[【関連】 【GIGA 到来】 不慣れな端末でも「皆でスタート」と決断](#)

[【佐藤明彦】 合格を勝ち取る教採対策講座 ウォーミングアップ編](#)

[【関連】 教職教養でよく出る教育時事ランキング より、引用](#)

(4) 法規法令

⑤ 「コロナ禍で重要性増す ESD」(2021年4月22日) ユネスコスクール全国大会

政府の「持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議」は5月6日まで、持続可能な開発のための教育(ESD)の第2期国内実施計画案について、パブリックコメントを募集している。コロナ禍によってESDの重要性は一層高まっているとし、ステークホルダーとの連携を促進しながら、ESDを学校や地域で展開し、海外に優れた実践を発信していく方針が示された。

2019年の国連総会で承認された、2020~30年にかけての新しい枠組み「持続可能な開発のための教育:SDGs実現に向けて(ESD for 2030)」に合わせて改訂される第2期実施計画案では▽政策の推進▽学習環境の変革▽教育者の能力構築▽ユースのエンパワーメントと動員▽地域レベルでの活動の促進——の5つを優先行動分野として位置付け、ESDの提唱国として、日本は優れた実践事例を提示するなど、世界のESD活動の推進に先導的な役割を果たしていくとした。

⑥ 「第3期教育振興基本計画」

2019年度2位の「第3期教育振興基本計画」は、2020年度も同じく2位にランクインしました。この計画で、特によく問われているのは、「基本的な方針」の5つの項目です。この部分は、暗記するくらいのつもりで覚えておいてもよいでしょう。なお、教育振興基本計画は、国の計画を受けて、各自治体も策定しています。そこから出す自治体も多いので、チェックしておきましょう。

⑦ 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」

学習指導要領改訂に関わる中央教育審議会の答申は、出されてから4年が経過し、すでに小学校で全面实施となったこともあって、出題自治体数が激減しました。恐らく、2021年度実施試験では、さらに減少するでしょう。ただ、この答申の肝となる部分を押さえておけば、学習指導要領の総則について問う問題にも対応できます。「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」「主体的・対話的で深い学び」など、主要なキーワードに関わる部分は、チェックしておいて損はないと思われます。

⑧ 「教育の情報化に関する手引」

2019年12月、約10年ぶりに改訂された「教育の情報化に関する手引」からは、8自治体が出題しました。全国各地の小中学校では、「GIGAスクール構想」に基づくデジタル端末の整備が進んでおり、これから教員になる人はICTを活用して指導する力が求められます。そうした流れからも、この手引からは2021年度以降も多くの自治体が出題するものと思われる。

⑨ 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」

2020年度実施試験では、この通知について問う自治体が7自治体に上り、前年度の2自治体から一気に増えました。特によく問われているのは、3観点のうち「主体的に学習に取り組む態度」の部分で、「学びに向かう力、人間性等」は「個人内評価」を通じて見取ることなどについて、多くの自治体が出題しました。

⑩ 「特別支援教育の推進について(通知)」「発達障害のガイドライン」

「特別支援教育の推進について(通知)」は、もう10年以上前の資料ですが、今なお多くの自治体が出題しています。発達障害への対応など、特別支援教育が校種を問わない課題となっているからです。同様の理由で、2017年3月に出された発達障害のガイドラインも、2019年7位(6自治体)、2018年4位(7自治体)と上位に入っています。

⑪ 「いじめの防止等のための基本的な方針[平成29年3月改定]」「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」

「いじめ」に関しては、教育法規分野の「いじめ防止対策推進法」から多くの自治体が出題していますが、教育時事分野でも「いじめの防止等のための基本的な方針[平成29年3月改定]」と「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」を中心に、多くの自治体が出題しています。いじめの定義、重大事態の定義などを中心に、要点を押さえておきましょう。

⑫ 「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)」

2019年は5位(7自治体)だった働き方改革の答申(「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構

策のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」（2019年1月）は、2020年度も6位（6自治体）と、多くの自治体が出題しました。特によく問われているのは、答申内で示されている「基本的には学校以外が担うべき業務」「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」の3区分についてです。最低限、ここだけでも押さえておきましょう。

⑩中教審「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」

2021年実施試験から出題が予想される資料の中で、最も要注意なものは何と言っても2021年1月に示された中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」です。「個別最適な学び」は、GIGAスクール構想に基づく学校のICT化とセットで進められ、「指導の個別化」と「学習の個性化」という二つの側面から推進することなどが、この答申には示されています。また、小学校高学年における教科担任制、履修主義・修得主義の適切な組み合わせといったことも示されており、今後の学校教育を形づくるものとして、多くの教育関係者が注目を集めています。文部科学省のホームページには、概要版も公開されているので、最低限、それを見ながら要点を押さえておくことをお勧めします。

⑪文部科学省「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料」

2020年9月に示された「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料」も、押さえておきたい資料の一つです。現在、GIGAスクール構想に基づき、学校のICT化は急ピッチに進められています。デジタル端末や電子黒板などを使った授業が具体的にどのようなものなのか、この資料に目を通せば、面接・論文の対策に役立てることもできます。

（5）教育時事問題例

1. キャリア教育に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～5のうちのどれか。（2022東京都）
 - ア キャリア教育とは、一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能、能力や態度を育てる教育である。
 - イ キャリア教育は、特定の活動や指導方法に限定されるものではなく、様々な教育活動を通して実践されるものである。
 - ウ キャリア教育で育成すべき「基礎的・汎用的能力」は、「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」の四つで構成されている。
 - エ 生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を、義務教育を修了するまでに、身に付けさせることを目標とすることが必要であるとされている。

1 ア・イ 2 ア・ウ 3 イ・ウ 4 イ・エ 5 ウ・エ
2. 「令和元年度 文部科学白書」（文部科学省 令和2年7月）に関する記述として適切なものは、次の1～5のうちのどれか。（2022東京都）
 - 1 学校教育の情報化に向けた「スマート・スクール・プロジェクト」の実現に向けて、校内LANの整備を推進するとともに、令和5年度までに、小学校から高等学校までの全学年の児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指している。
 - 2 成年年齢を引き下げる民法の一部を改正する法律が令和4年4月1日より施行予定であることから、消費者庁、法務省、金融庁とともに、「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム」を決定し、本プログラムに基づき、若年者に対する消費者教育の推進を図っている。
 - 3 環境教育を一層推進するため、「環境×SDGs一体推進パイロット・プログラム」に参加する協力校を指定するとともに、児童生徒の健全育成を目的とした自然体験活動や農林漁業体験など農山漁村等における様々な宿泊体験活動を支援している。
 - 4 学校における食育を推進するため、学校を核として家庭を巻き込んだ取組を推進し、子供の日常生活の基盤である家庭における食に関する理解を深めることにより、子供の食に関する自己管理能力の育成を目指す「フードバンク」を実施している。
 - 5 帰国児童生徒・外国人の子供等への支援施策として、平成26年に学校教育法施行規則を一部改正し、日本語指導が必要な児童生徒を対象とした「特別の教育課程」の編成・実施を促進している。

解答5

[#神谷正孝の5分でわかる教育時事 2020～2021](#) [#神谷正孝の5分でわかる教育時事 2019～2020](#) [#神谷正孝の5分でわかる教育時事 2018～2019](#) [#押さえたい教育時事](#)

[神谷正孝の5分でわかる教育時事 2020～2022](#)

神谷正孝の教育時事 2022 (1) 教育時事の対策 2022 「合格に向けて時事をどう攻略するか」

2021年10月11日

[神谷正孝の5分でわかる教育時事 2020～2022](#)

[教員採用試験対策専門スクール kei 塾](#)

kei 塾主任講師 神谷 正孝

(6) 予想される 2023 年度教育時事テーマ

教育時事の対策について、教職教養及び集団討論・集団面接、論作文のテーマとして提起されていきますので理解を深めていきましょう。

①学習指導要領関連

- ・「主体的・対話的で深い学び」 ・プログラミング教育 ・外国語・外国語活動（小）
- ・合意形成・意思決定（特別活動） ・高校における新学習指導要領

②地域

- ・コミュニティスクール ・ふるさと教育・郷土愛を育む教育 ・地域と学校の連携・協働

③社会事情・社会情勢

- ・SDGs・持続可能な社会の担い手の育成 ・児童虐待 ・ヤングケアラー問題 ・貧困
- ・外国人の児童生徒への対応 ・Society5.0

④子ども理解・生徒指導

- ・発達障害・特別支援教育 ・いじめ・不登校・暴力行為・自殺予防 ・ブラック校則

⑤コロナ関連

- ・コロナ禍の学校教育活動と子どもへの影響 ・コロナ差別・いじめ ・感染症防止対策・学校保健

⑥〇〇教育

- ・キャリア教育 ・情報教育・GIGA スクール構想 ・食育・健康教育 ・消費者教育 ・主権者教育
- ・シチズンシップ教育

⑦その他

- ・働き方改革 ・教科担任制導入 ・教員免許更新制廃止 ・個別最適な学び ・協働的な学び
- ・STEAMS 教育・PBL ・全国学力・学習状況調査

それでは、具体的な「教職教養」対策では、特に、教員採用選考試験対策の勉強、過去問が必要です。総仕上げ期では、学習指導要領（総則、道徳科、総合学習）や中教審答申、第3次教育振興基本計画に目を通し、空欄補充問題や出典法規を問う問題に精通しましょう。重要な教育法規に関する出題例として、1. 憲法 2. 教育基本法 3. 学校教育法 4. 学校教育法施行令 5. 学校教育法施行規則 6. 学校保健安全法 7. 地方公務員法 8. 教育公務員特例法 9. 教育職員免許法 10. 地教法 11. 児童虐待防止等に関する法律 12. 日本スポーツ振興センター法 13. いじめ防止対策推進法 14. 子どもの貧困対策法 15. 中央教育審議会答申（令和3年1/26）16. GIGA スクール 17. SDGs 18. ESD 教育 19. NIE 教育 20. 脱炭素社会 2050 などは、時事問題も含めて目を通して欲しい。

（国土舘大学楓教育会だより第7号より、引用）

私の「教職教養」対策 ー学習計画ー

第3節 専門教養攻略法

—「専門教養」油断は禁物！教科書・大学の授業や大学入試問題で確認しよう—

1 即戦力の要「授業力」

教師にとって、最も大切な資質・能力は「教科の知識・指導力」です。これを問うのが「専門教養」の試験です。筆記試験の中で最も難易度が高く、配点も高い。面接や模擬授業、論作文では、具体的に述べよと言われる「策」として重要ポイントです。

1 傾向と対策

傾向として、専門教養では、教科内容を中心に、指導要領や指導法も問われます。小学校全科の出題範囲は、小学校から高校までの標準的な学習事項が中心となっています。自治体によって、「主要教科のみ」「実技科目を含む」「道徳など4領域を含む」などのケースに分かれます。中学・高校の各教科では、専門教科について、中学校から高校、大学までの学習事項について、より専門的なレベルの出題があります。学習指導要領からは、教科の「目標」「各学年の目標及び内容」など記述内容の詳細が問われます。

対策として、**小学校全科**では、小学校の学習内容なども油断せずに、教科書などを利用して着実に見直しが必要です。また、実技科目ほど専門的な内容となる傾向があるため、重点的に学習する必要があります。**中学・高校の専門教科**は、殆どが大学入試レベルの問題です。難易度の高い問題も含め、入試問題集を活用するのが効率的な方法です。

学習指導要領は、対象範囲の記述を、ある程度覚えてしまうことが必要です。専門教養は、自治体によって傾向と対策に違いがあります。過去問の分析が重要です。1年間を保健分野・体育分野別に出題傾向を分析してみましょう。例えば、体育分野・保健分野別の出題量・内容など傾向を分析し対策について紹介します。まず、「学習指導要領解説 保健体育編」の内容がどのように出題されているのか、体育実技資料集（手引き）の内容がどのように出題されているのか、この点も分析の重要ポイントです。

次に、見方・考え方、保健の出題量が4分の1。保健と体育理論、スポーツ基本法、部活動ガイドライン、保健と学習指導要領40問のうち30問出題されたという自治体の分析報告がなされています。情報収集こそ、実力アップのコツと言えるでしょう。

さらに、ノートで勝負です。ノートにまとめる方法として、プリントアウトしてノートに貼る、メモをする、苦手対策キーワードを赤で引くと覚えている。自分で大事な箇所に下線を引くことも大事です。その時に共感的な言葉をメモすることも記憶のポイントです。

私の専門教養対策（教科ごとに具体的に述べよう）を計画しよう

--

2 専門教養過去5年間の出題傾向分析方法例

専門教養過去5年間の出題傾向分析のためには、先ず、実際行われる問題を可能であれば集めたいが難しい場合もあります。そこで、茨城県教員採用選考試験の保健体育科の傾向と対策例を示します。下記の出題傾向分析表を参考にして、ノート整理を進めましょう。

専門教養過去5年間の出題傾向分析表

◎：3問以上出題 ●：2問出題 ○：1問出題

分類	主な出題事項		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		
			中	高	中	高	中	高	中	高	中	高	
中学校学習指導要領	総説						○						
	保健体育科の目標及び内容		◎		◎		◎	◎	◎		◎	◎	
	指導計画の作成と内容の取扱い		◎								○	○	
高校学習指導要領	総説			◎							○	○	
	保健体育科の目標及び内容			◎		◎			◎	◎	◎	◎	
	指導計画の作成と内容の取扱い										○	○	
運動種目中(体育分野)高「体育」	集団行動												
	体づくり運動		◎				○	○	○	○	○	○	
	器械運動		◎				◎	◎	◎	○	○	○	
	陸上競技						○	○	○		○	○	
	水泳						●	●	●		●	●	
	球技	ゴール型	バスケットボール									○	○
			ハンドボール										
			サッカー										
			ラグビー										
		ネット型	バレーボール										
			テニス										
			卓球										
		ベースボール型	ソフトボール									○	○
			武道										
		柔道							●	●	●	○	○
	剣道										○	○	
	相撲												
	ダンス		◎				○	○	○	●	◎	◎	
	その他(スキー、スケート)												
	体育理論		◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
中学(保健分野)	健康な生活と疾病の予防		◎						◎		◎		
	心身の機能の発達と心の健康						◎	◎					
	障害の防止				●		●	●	○				
	健康と環境				○								
高校「保健」	現代社会と健康			◎		●	◎	◎		◎		◎	
	安全な社会生活			◎		○				○			
	生涯を通じる健康			◎		○							
	健康を支える環境づくり									○			
その他	用語解説					◎							
	地域問題			◎									
	新体力テスト												
	運動部活動												

また、「資質・能力三つの柱」「見方・考え方」、「主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善」、「観点別評価」、「指導と評価の一体化」などの視点から、傾向と対策の分析を行うことも重要です。ここでの重要ポイントは、攻略のための学習計画書を作成し、ノートに問題を貼り、分析を行うところからが始まりであることです。

2023年度版〇〇県の教員採用試験 過去問シリーズ 保健体育科 協同出版 より、引用

3 私の専門教養対策例（保健体育科の事例を紹介します。参考にしてください。）

（1）改訂の基本方針

中学校学習指導要領 第1章総説の（2）改訂の基本方針の②育成を目指す資質・能力の明確化において、「今回の改定では、知・徳・体にわたる『生きる力』を子供たちに育むために『何のために学ぶのか』という各教科等を学ぶ意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していくことができるようにするため、全ての教科等の目標及び内容を『知識及び技能』、『思考力、判断力、表現力等』、『学びに向かう力、人間性等』の三つの柱で再整理した」と述べている（p.3）。

さらに、新学習指導要領の中核にある「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業改善が提起された考え方や背景について、鈴木秀幸は、「深い学び入門」の中で、構成主義や社会的構成主義、ビィゴツキー、ZPD（鈴木秀幸教育新聞 kyobun.co.jp）を理解すること重要であると述べています。教職教養に出題されている事項ですが参考にしてください。

関連記事

【深い学び入門（5）】評価から学習へ…ウオッシュバック効果 2021年8月9日

【深い学び入門（6）】学習の自己コントロール 2021年8月23日

【深い学び入門（7）】教採試験で問われる…深い学び 2021年9月6日

【深い学び入門（9）】教採試験で問われる…主体的な学習 2021年10月11日

つまり、これまでの学習指導をした後、指導の結果を確認するための評価（総括的評価）である「学習から評価へ」の流れから、「評価から学習へ」という逆の流れ「逆向き設計」を考えるべきであるという考え方、単語や用語を覚える学習目標から学習分野の基本的課題（社会の変化がなぜ起こるか）を考えたり社会の仕組みや基本原理の理解に努める学びを深めることを学習目標とする「深い学び」が、新たな学習指導の方法や単元計画の立案に生かされていることを理解しながら教材研究に努めましょう。

（1）保健体育科学習指導案作成上の留意点

ポイントⅠ —新学習指導要領全面実施に基づく新たな授業づくり—

ポイントⅡ —「見方・考え方」と「指導と評価の一体化」で授業を変える—

①観点別学習状況の評価の観点、4観点から3観点への移行について

教育実習校の指導教諭の指導に従ってください。しかし、近年の教員採用選考試験には、新学習指導要領に沿った問題や面接、論作文が行われています。十分、留意しましょう。

関心・意欲・態度	知識・技能
思考・判断	思考・判断・表現
技能	主体的に取り組む態度
知識・理解（保健領域）	

②学習指導案の書き方

小学校は2020（令和2）年度、中学校は2021（令和3）年度全面実施、高等学校は2022（令和4）年度と年次進行で実施します。今回の改訂のポイントは、「授業を変える」ことです。また、校種によって、教育実習校の指導教諭の指導に従ってください。

受験自治体及び各校種・教科によって、標記の方法が異なる場合がありますが、その趣旨に沿って学習指導案作成を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業改善に努めてください。

学部 学科 氏名

--